

## 〈 施工説明書 〉

## アルミ子柱ユニット

株式会社 ウッドワン 〒738-0023  
広島県廿日市市下平良1-12-1

商品相談窓口



0120-813-331

[受付時間] 平日8:30 ~ 17:00 [休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## 安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



## 注意

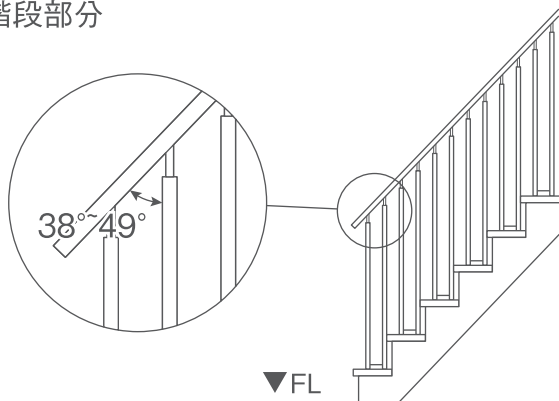
施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



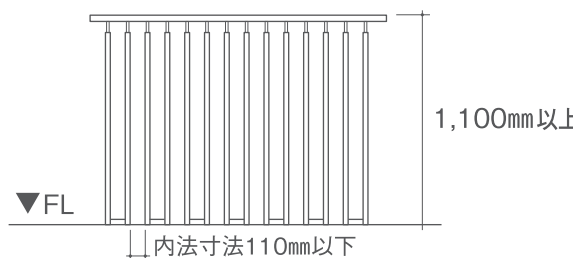
## 警告!

- 躯体の強度を確保してください。  
階段が取り付け位置には、十分な強度のある柱・間柱・胴縁や梁・大引などの下地があることを確認してください。
- 階段ユニットの角度適応範囲は38°~49°のため、適応範囲外の角度での使用はおやめください。
- 子供がすり抜けないように2階ホール等を使用する場合は、ユニット間の内法を110mm以下で取り付けてください。
- 2階ホールの手すりの高さは1100mm以上としてください。

■ 階段部分



■ 2階ホールなど



- 指定の固定方法で取り付けてください。
- 指定の下穴をあけてご使用ください。
- 取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- 万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。
- 商品を分解したり、修理、改造はしないでください。事故やケガの原因となります。



## 注意!

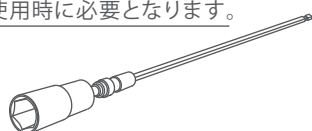
- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- 階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。
- 手すりは連続して取り付けてください。
- 各部材を取り付ける際、電動ドライバーのトルク調整を行い、ネジを空転させないようご注意ください。
- 施工には、長尺ビットやL型ビットが必要になります。( 下部記載 )
- 本体柱には、施工時の傷防止として保護テープが貼ってありますので、施工完了まで剥がさないでください。

## 施工前の準備と確認

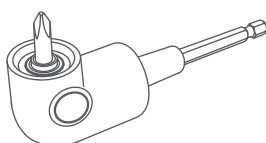
## 必要工具の確認

## 現場手配工具等

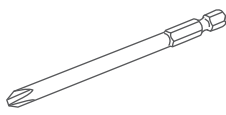
ロングビット(長さ30cm程度)  
六角ソケット - 8mm  
※六角アプセットタッピンねじ  
使用時に必要となります。



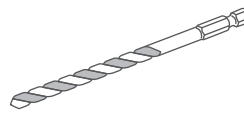
L型ビット  
※笠木取付時に必要となります。



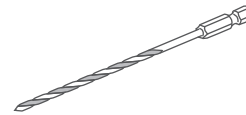
⊕ ビット - # 2



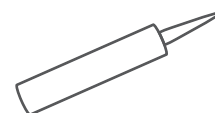
ドリルビット - 4mm程度  
※5mmのビス使用時に  
下穴用に必要となります。



ドリルビット - 2.5mm程度  
※3.5mmのビス使用時に  
下穴用に必要となります。



変成シリコンシーリング材  
※ガタツキ・音鳴り防止に  
必要となります。

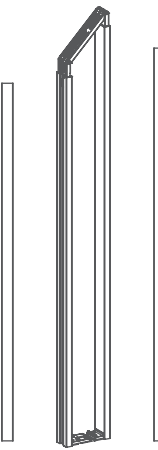


## 施工前の準備と確認

### 梱包内容の確認

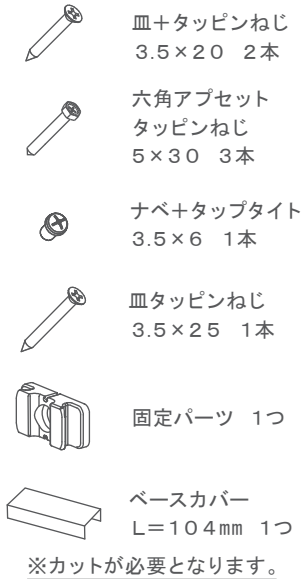
#### 階段ユニットセット

##### 階段ユニット



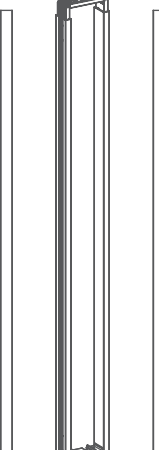
階段ユニット本体 1本  
アクセントライン883mm 1本  
アクセントライン985mm 1本

##### 階段ユニット周辺パーツ



#### 吹抜ユニットセット

##### 吹抜ユニット

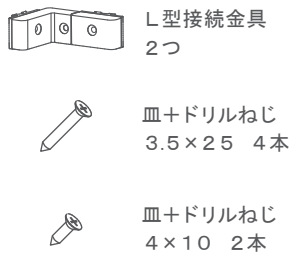


吹抜ユニット本体 1本  
アクセントライン1055mm 2本

##### 吹抜ユニット周辺パーツ



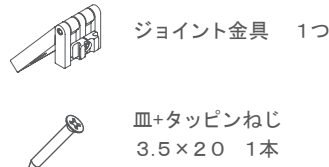
#### L型ジョイント



#### 吹抜壁固定パーツ



#### ストレートジョイント[角度調整タイプ]



お願い

安全に快適に使用していただくために、  
理解していただきたい内容です。

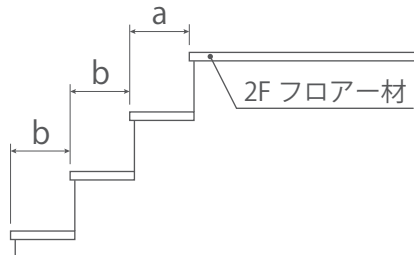
- ・下穴はネジ径の80～85%を目安としてください。
- ・別売の接着剤(IW-330)を少量充填しておくことも緩み止めに効果があります。

## 施工前の準備と確認

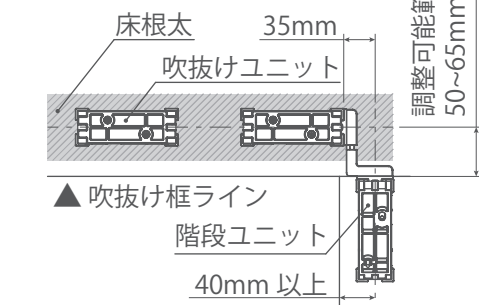
### 取付位置、下地の確認

#### 取付位置寸法の確認

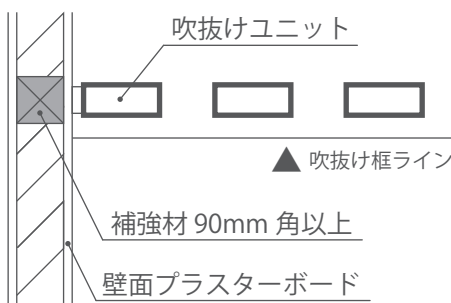
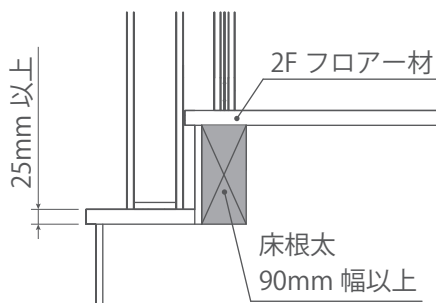
※最上段の路面aと踏板bの寸法が  
同じであることを確認してください。



※吹抜けユニットは必ず床根太上に  
取付位置を設定してください。



#### 下地補強の確認

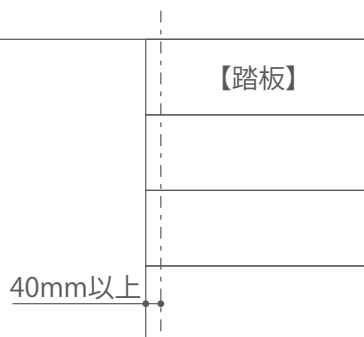


### 【階段用施工手順】

必ず下穴を開けてから取付けてください。(下穴はネジ径の80～85%を目安としてください。)  
柱の保護テープは施工終了まで剥がさないでください。

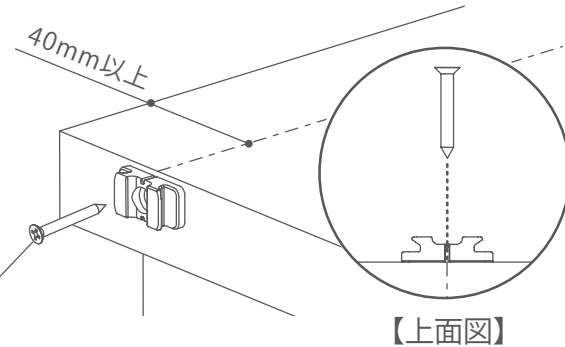
#### 1 スミだし(取付位置だし)

①踏板に階段ユニットのセンターラインをスミだしする。  
踏板の端から手すりユニットのセンターを40mm以上に  
設定してください。



②スミだししたラインと固定  
パーツの中心を合わせ、垂直、  
水平を確認して段鼻に固定  
パーツをビスで固定する。

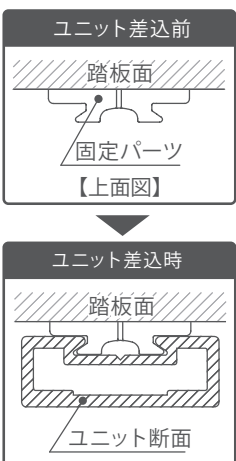
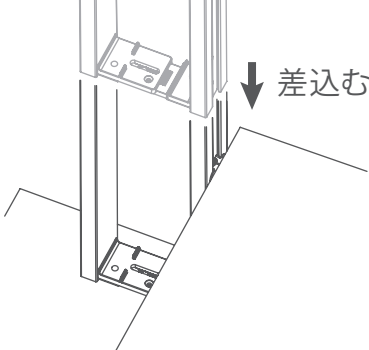
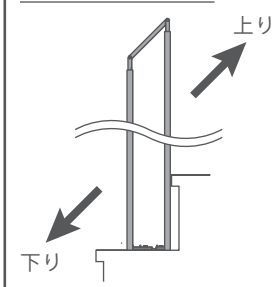
皿タッピンねじ 3.5x25



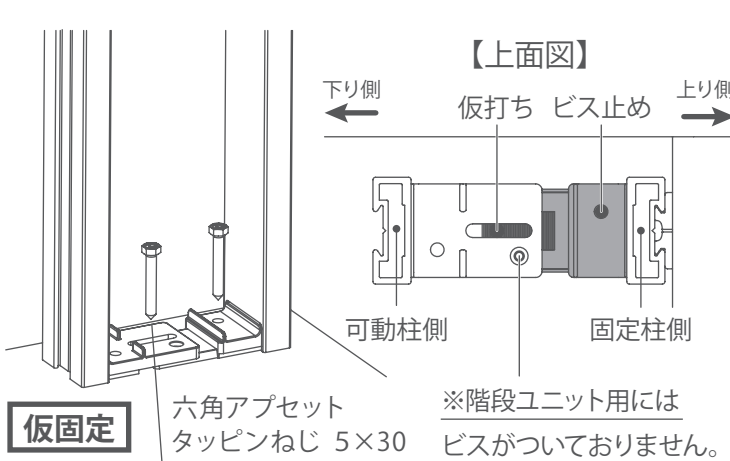
#### 2 ユニット仮固定

①階段ユニットの固定柱を固定パーツに差込む。

※取付方向を間違えない  
ようご注意ください。

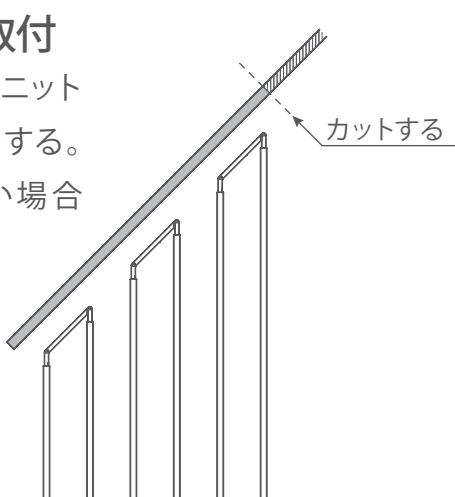


②ユニットの垂直、水平  
を確認し、固定柱側の  
座金をビス止め、中央  
可動部を仮打ちする。  
※この時点では、可動  
柱側の座金にビス止め  
はしないでください。

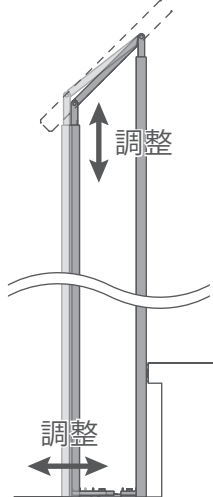


#### 3 手すり取付

①手すりをユニット  
の上に仮置きする。  
手すりが長い場合  
はカットする。

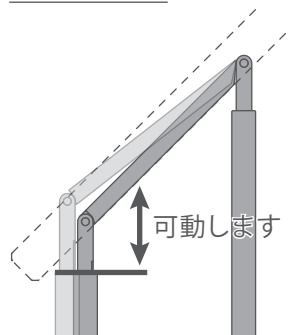


②取付け部の角度を階  
段と平行になるよう、  
ユニット可動柱上部を  
上下に作動させ、ユ  
ニットが垂直になるよ  
う、可動柱下部を前後  
に調整します。



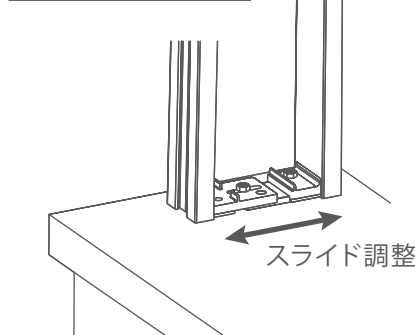
#### 【上部拡大】

※階段と平行になるよう  
全ユニットの角度調整を  
してください。



#### 【下部拡大】

※座金をスライドさせ、  
ユニットの垂直レベル  
を合わせてください。



## 4 階段ユニット本固定

①階段ユニット上部と手すりをビスで固定する。

皿+タッピンねじ 3.5×20

②可動柱も水平、垂直を調整してから踏板にビスで固定する。仮打ちしていた中央部のビスも増し締めする。

本固定

六角アプセット  
タッピンねじ 5×30

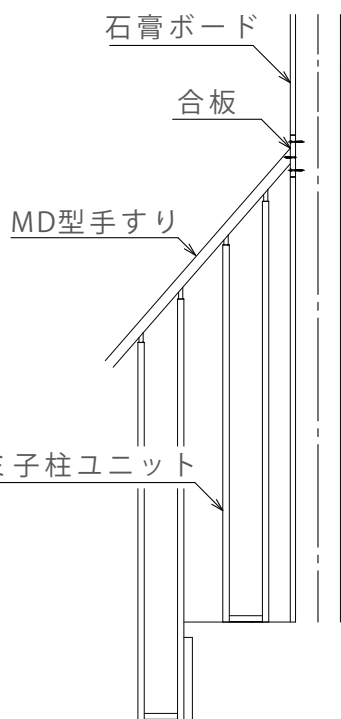
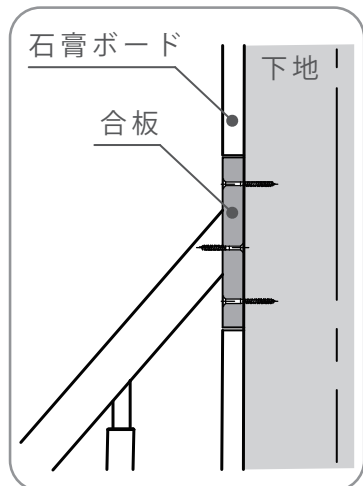
③各ユニット可動柱上部をビス止めする。

※締めすぎにご注意ください。

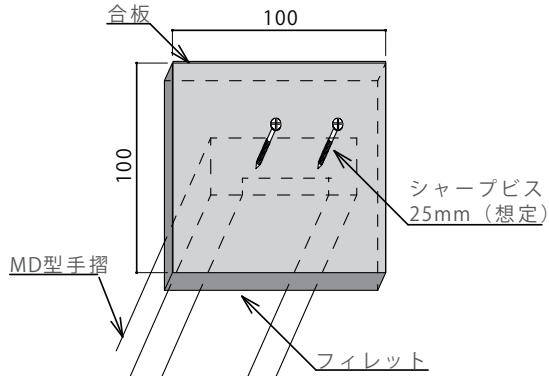
ナベ+タップタイト 3.5×6

## 5 手すりと壁面の施工

アルミ子柱階段ユニットが吹抜・天井ユニットと接続されず壁面で納まる場合、手すり端部と壁面の固定を行って下さい。  
アルミ子柱吹抜けユニットの親柱、壁面側の固定も、壁固定パーツ(ZYKDH1-7)での固定が出来ない場合、同様の固定をして下さい。



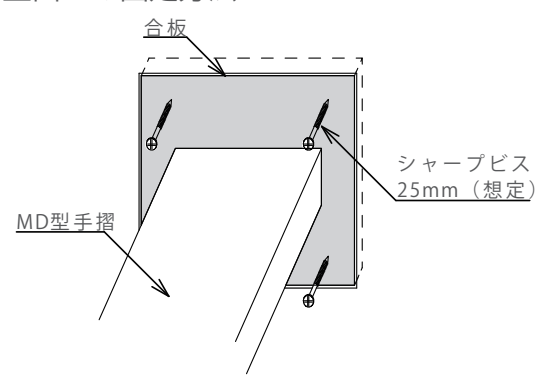
①MD型手すり上端部(木口)への合板の取付け



手すり端部を壁面固定する場合、手すり上端部木口に石膏ボードと同厚の合板(100mm角)を取付け、ロゼットの代わりにして固定します。  
ビス先端が手すり化粧面から飛び出さないように、ビスを固定する位置の材厚を確認してから、合板の取付けをして下さい。(ビス2本以上)  
合板取付け前に、MD型手摺には接着材でフィレットを取付け、接着材硬化後、手すり木口にも接着材を塗布し図のようにビス固定をします。

参考図は25mmシャープビスを想定しています。

②壁面への固定方法



事前に取付け箇所には、合板を固定できる下地があるか確認をして下さい。  
手すり施工時に既に石膏ボードが施工されている場合、手すり固定箇所の壁面部分の石膏ボードを切欠き、合板を嵌め込むように設置します。  
石膏ボードの取付けが後工程の場合は、切欠きの必要はありません。  
ビス固定は4箇所以上で固定して下さい。  
継目やビス頭を丁寧にパテ埋めして、仕上げて下さい。

## 【吹抜用施工手順】L型ジョイントで取り付ける場合

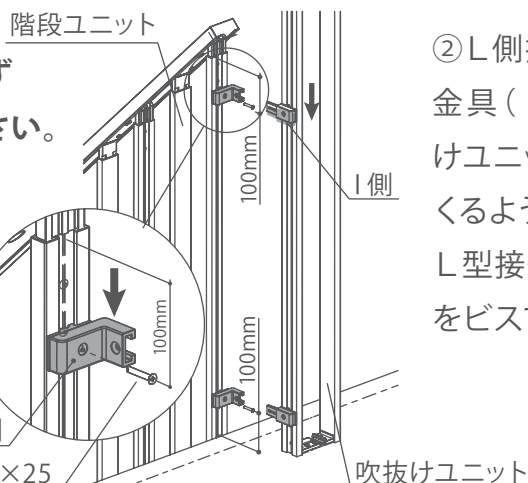
必ず下穴を開けてから取付けてください。  
(下穴はネジ径の80～85%を目安としてください。)

### 1 L型接続金具取付

※吹抜けユニット施工前に必ず取り付け方向を確認してください。

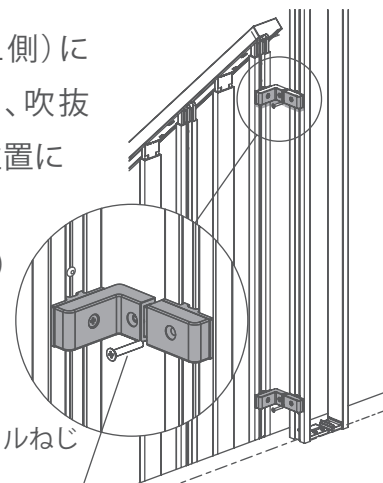
①L型接続金具(L側)を2つ階段ユニットに差し込み、ビスで固定する。  
吹抜けユニットにL型接続金具(I側)を差し込む。

皿+ドリルねじ 3.5×25



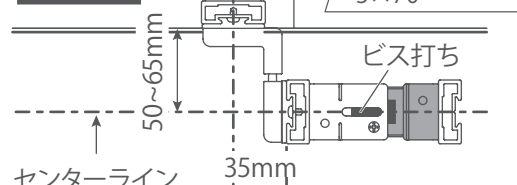
②L側接続金具(L側)に金具(I側)をはめ、吹抜けユニットが取付位置にくるよう調整する。  
L型接続金具(I側)をビスで固定する。

皿+ドリルねじ 3.5×25



③ユニットの垂直を確認し、座金中央の穴を仮固定する。

仮固定

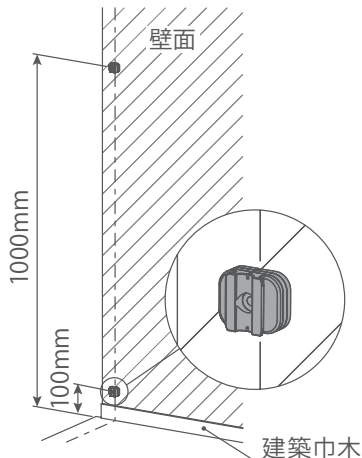


六角アプセット  
タッピンねじ 5×70

※吹抜けユニット同士の連結の場合も同様の施工となります。

### 2 壁面固定

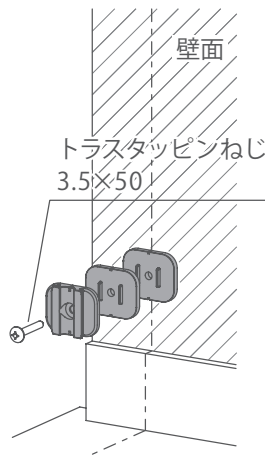
①吹抜けユニットのセンターラインと固定パーツの中心を合わせ、固定パーツ2つをビスで壁面に固定する。



※建築巾木がある場合は、固定パーツ付属のスペーサーを巾木の厚みに合わせて壁面に固定する。

スペーサー使用枚数の目安

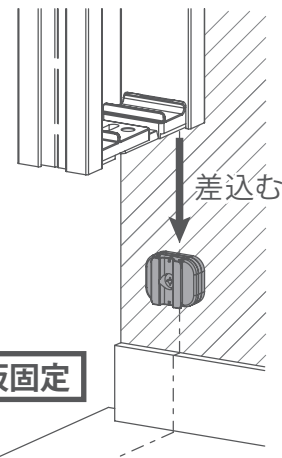
|           |       |
|-----------|-------|
| スペーサー厚み   | = 3mm |
| 建築巾木 6mm  | = 2枚  |
| 建築巾木 9mm  | = 3枚  |
| 建築巾木 12mm | = 4枚  |



トラスタッピンねじ 3.5×50

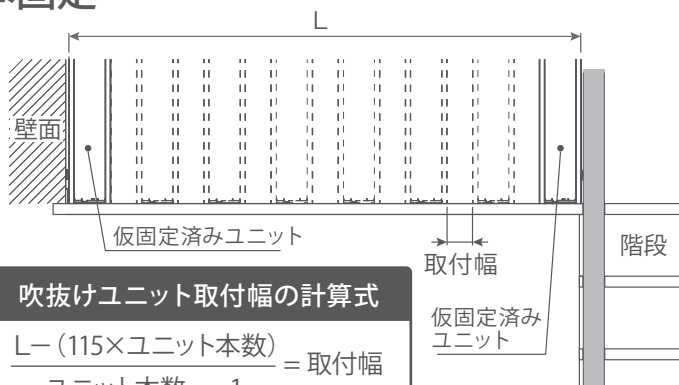
②固定パーツに吹抜けユニットを差し込む。1と同様にユニットの垂直を確認し、座金中央の穴を仮固定する。

仮固定



### 3 割付と吹抜けユニット本固定

①1と2のユニットの端から端までの距離をLとし、Lを下の計算式にあてはめ、吹抜けユニット取付位置を割付ける。  
※取付幅は110mm以内に設定する。



吹抜けユニット取付幅の計算式

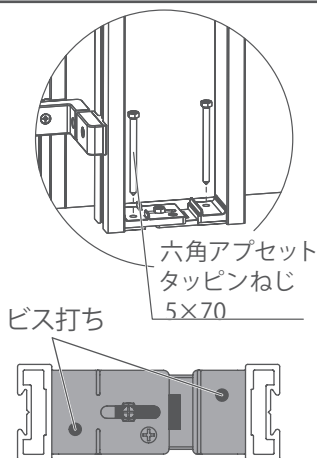
$$\frac{L - (115 \times \text{ユニット本数})}{\text{ユニット本数} - 1} = \text{取付幅}$$

②割付けた位置に吹抜けユニットを1、2と同様に仮固定し、ユニットの通り芯を揃え、全ユニットを本固定する。仮固定のビスも増し締めする。

POINT

全ユニットが仮固定の状態の時、笠木をのせテープなどで軽く固定しておけば、通り芯を揃えやすく本固定時もブレが少なく打つことができます。

本固定

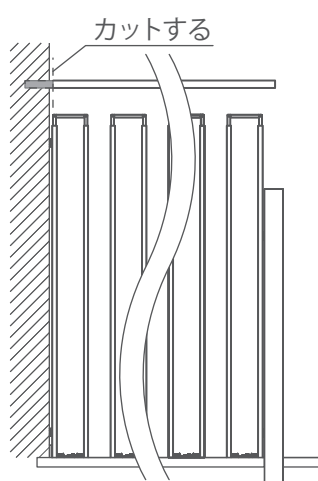


六角アプセット  
タッピンねじ 5×70

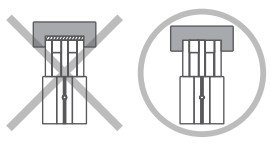


## 4 手すり取付

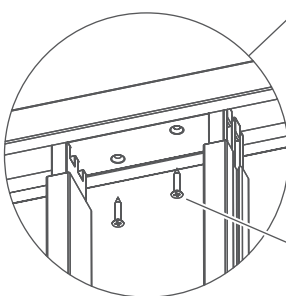
①手すりをユニットの上に仮置きする。手すりが長い場合はカットする。仮置き後、柱ユニットの垂直レベルを確認してください。



※ユニット上部がきちんと手すり裏溝にはまっている事を確認してください。

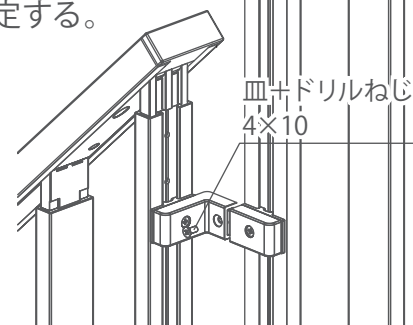


②手すりと吹抜ユニットをビス固定していく。



## 5 L型接続金具固定

①L型接続金具のL側1側をビスで固定する。

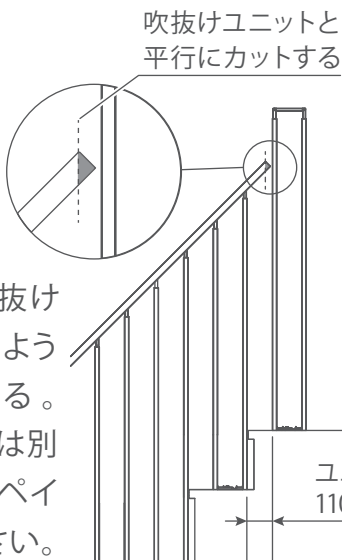


## 【吹抜用施工手順】ストレートジョイントで取り付ける場合

必ず下穴を開けてから取付けてください。  
(下穴はネジ径の80～85%を目安としてください。)

### 1 手すり取付

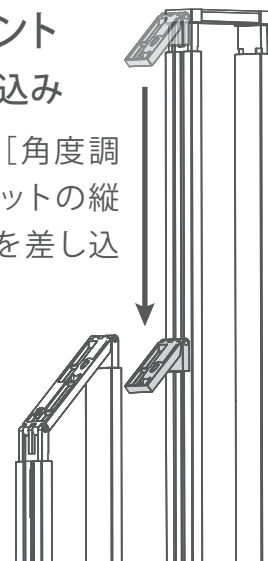
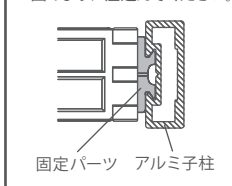
①吹抜けユニットを階段ユニットと同じラインに仮固定する。階段ユニットに手すりを仮置きし、吹抜けユニットと平行になるよう手すりをカットする。カット部分の木口面は別売品のタッチアップペイントで仕上げてください。



### 2 ストレートジョイント [角度調整タイプ] の差込み

①ストレートジョイント [角度調整タイプ] を吹抜けユニットの縦溝上部より固定パーツを差し込んでください。

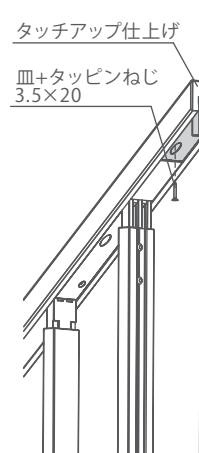
※図のように差込んでください。



### 3 ストレートジョイント [角度調整タイプ] の取付

①階段に固定された手すりに角度を合わせ、ストレートジョイント [角度調整タイプ] を取り付ける。

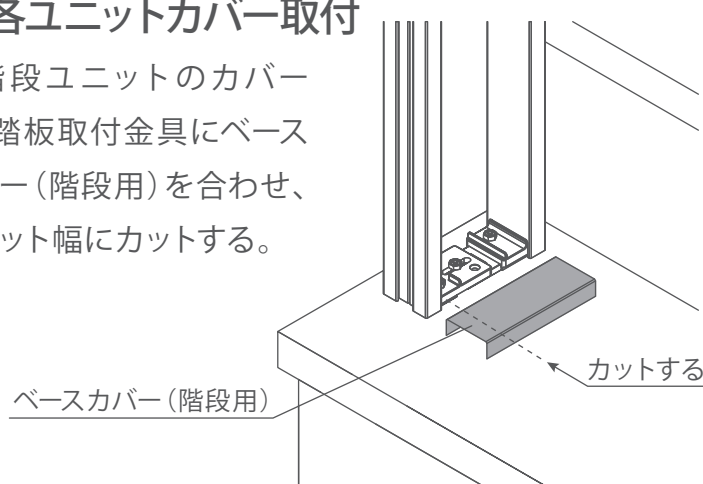
□部に変成シリコンシーリング材を塗布してください。



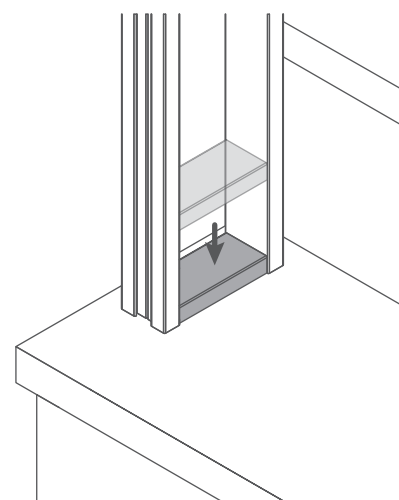
## 【施工仕上げ】

### 1 各ユニットカバー取付

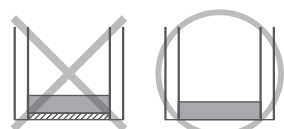
①階段ユニットのカバーは、踏板取付金具にベースカバー (階段用) を合わせ、ユニット幅にカットする。



②階段ユニットの踏板取付金具には、カットしたベースカバー (階段用) を取り付ける。吹抜けユニットの踏板取付金具には、ベースカバー (吹抜け用) を取り付ける。  
※取付方はどちらも同じ。



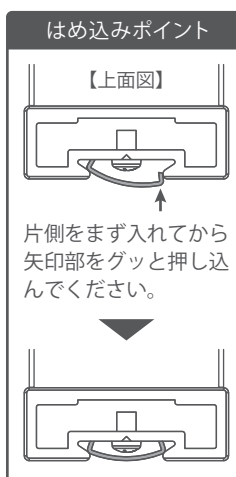
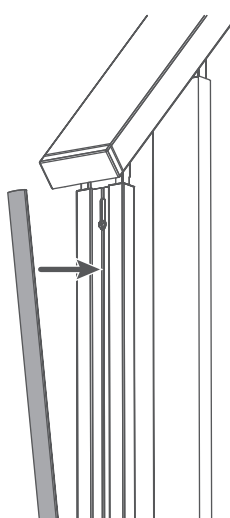
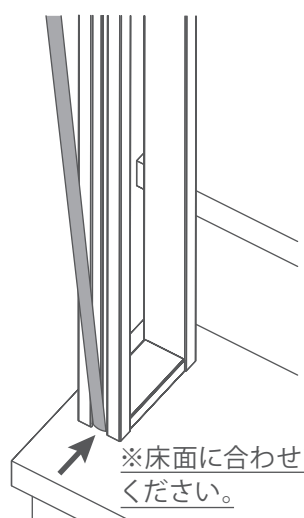
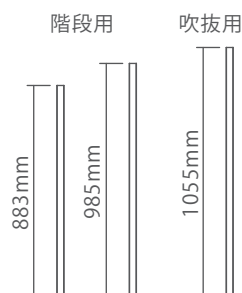
※ベースカバーがきちんと奥に、はまっている事を確認してください。



### 2 アクセントライン取付

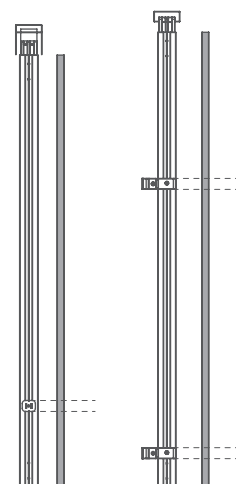
①アクセントラインを床面に合わせ、下から上に向かって取り付ける。

※アクセントラインには階段用2種類、吹抜け用1種類あります。よくご確認のうえ取付けてください。



②固定パーツ、L型接続金具が取り付けられているユニットの場合、アクセントラインのカットが必要です。固定パーツ、L型接続金具までの距離に合わせカットしてください。

----- カット位置



## 【施工終了後】

### ◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼りつけないようにしてください。

### ◆ お手入れのしかた

製品の表面が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。